①干支・六十干支順位表

干支は、中国から伝来した、年や日を表わすために十干と十二支とを組み合わせたものです。日本では、十干を陰陽道の五行（木火土金水）にあてはめ、それぞれを兄（え）と弟（と）に分け十二支に配するという方法が行われました。（左表）

この方法で年を表わすと、十干の「甲」と十二支の「子」との組み合わせから始まり、十干と十二支の最後の「癸」と「亥」との組み合わせまで六十通りの組み合わせができ、一巡すると「還暦」といいます。現在でも「還暦の祝い」といって六十歳の誕生日を行うのはこのためです。（下表）

【干支の組み合わせ】

十干			十二支		
甲	きのえ コウ	兄	子	ね シ	0時頃（夜半）
乙	きのと オツ	弟	丑	うし チュウ	2時頃（鶏鳴）
丙	ひのえ ヘイ	兄	寅	とら イン	4時頃（平旦）
丁	ひのと テイ	弟	卯	う ボウ	6時頃（日出）
戊	つちのえ ボ	兄	辰	たつ シン	8時頃（食時）
己	つちのと キ	弟	巳	み シ	10時頃（禺中）
庚	かのえ コウ	兄	午	うま ゴ	12時頃（日中）
辛	かのと シン	弟	未	ひつじ ビ	14時頃（日昳）
壬	みずのえ ジン	兄	申	さる シン	16時頃（哺時）
癸	みずのと キ	弟	酉	とり ユウ	18時頃（日入）
			戌	いぬ ジュツ	20時頃（黄昏）
			亥	い ガイ	22時頃（人定）

木の兄・木の弟　火の兄・火の弟　土の兄・土の弟　金の兄・金の弟　水の兄・水の弟

【干支順位表】

きのえね 甲子 コウシ(カッシ)	きのとうし 乙丑 オツ チュウ	ひのえとら 丙寅 ヘイ イン	ひのとう 丁卯 テイ ボウ	つちのえたつ 戊辰 ボ シン	つちのとみ 己巳 キ シ	かのえうま 庚午 コウ ゴ	かのとひつじ 辛未 シン ビ	みずのえさる 壬申 ジン シン	みずのとり 癸酉 キ ユウ
きのえいぬ 甲戌 コウ ジュツ	きのとい 乙亥 イツ ガイ	ひのえね 丙子 ヘイ シ	ひのとうし 丁丑 テイ チュウ	つちのえとら 戊寅 ボ イン	つちのとう 己卯 キ ボウ	かのえたつ 庚辰 コウ シン	かのとみ 辛巳 シン シ	みずのえうま 壬午 ジン ゴ	みずのとひつじ 癸未 キ ビ
きのえさる 甲申 コウ シン	きのとり 乙酉 イツ ユウ	ひのえいぬ 丙戌 ヘイ ジュツ	ひのとい 丁亥 テイ ガイ	つちのえね 戊子 ボ シ	つちのとうし 己丑 キ チュウ	かのえとら 庚寅 コウ イン	かのとう 辛卯 シン ボウ	みずのえたつ 壬辰 ジン シン	みずのとみ 癸巳 キ シ
きのえうま 甲午 コウ ゴ	みのとひつじ 乙未 イツ ビ	ひのえさる 丙申 ヘイ シン	ひのとり 丁酉 テイ ユウ	つちのえいぬ 戊戌 ボ ジュツ	つちのとい 己亥 キ ガイ	かのえね 庚子 コウ シ	かのとうし 辛丑 シン チュウ	みずのえとら 壬寅 ジン イン	みずのとう 癸卯 キ ボウ
きのえたつ 甲辰 コウ シン	きのとみ 乙巳 イツ シ	ひのえうま 丙午 ヘイ ゴ	ひのとひつじ 丁未 テイ ビ	つちのえさる 戊申 ボ シン	つちのとり 己酉 キ ユウ	かのえいぬ 庚戌 コウ ジュツ	かのとい 辛亥 シン ガイ	みずのえね 壬子 ジン シ	みずのとうし 癸丑 キ チュウ
きのえとら 甲寅 コウ イン	きのとう 乙卯 イツ ボウ	ひのえたつ 丙辰 ヘイ シン	ひのとみ 丁巳 テイ シ	つちのえうま 戊午 ボ ゴ	つちのとひつじ 己未 キ ビ	かのえさる 庚申 コウ シン	かのとり 辛酉 シン ユウ	みずのえいぬ 壬戌 ジン ジュツ	みずのとい 癸亥 キ ガイ

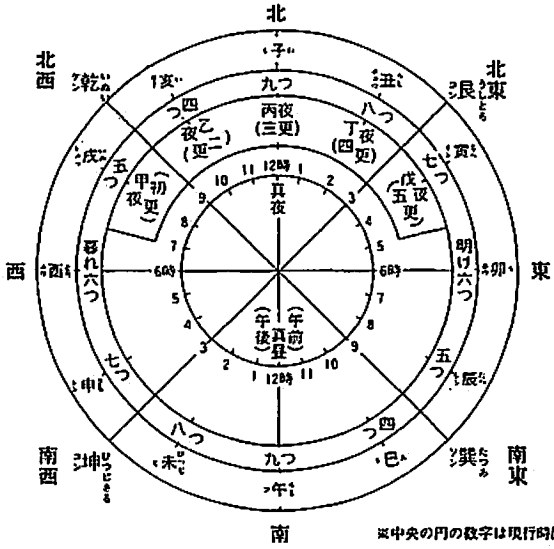
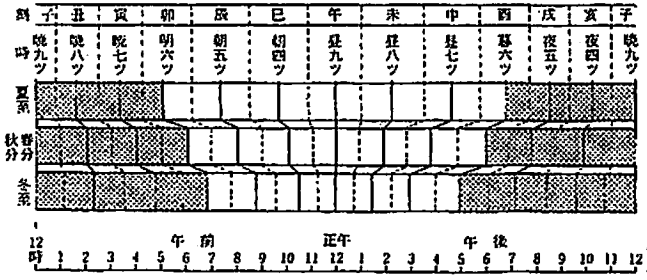
②方位・時刻表

近世の時刻の表わし方には、定時法と不定時法があります。定時法は上図のように、真夜中と真昼を「九ツ」として二時間ごとに「八ツ」「七ツ」「六ツ」「五ツ」「四ツ」とします。さらに真夜中の「九ツ」を「子の刻」といい、二時間ごとに「丑」「寅」「卯」…と十二支の順に十二の刻が設定されました。さらに一つの刻を半刻ごとに分けたり、上刻・中刻・下刻に三等分したり、さらに四等分したりしました。（上図）

不定時法は、季節により昼と夜の長さが異なるため、日の入と日の出をそれぞれ「明六ツ」「暮六ツ」と定め日中と夜中をそれぞれ六等分しました。この方法によると、一時の長さは四季および昼夜により異なり、夏至の昼間は約二・六時間、冬至では約一・八時間となります。（下図）

方位は北に十二支の「子」をあて、三十度ごとに、東回りに「丑」「寅」…というようにして「亥」まで一巡するようになっています。この方法によりますと東は「卯」、南は「午」、西は「酉」の方角となり、北東・南東・南西・北西は易学の八卦のうちの、「艮」「巽」「坤」「乾」にあてて表わします。乾の方角にある門を「乾門」などといったりするのはここから来ています。（上図）

【方位表と定時法】



【不定時法】